

平成24年度 第5回 九州工業大学 経営協議会 議事次第

日 時 平成24年11月22日(木) 13:00~15:00

場 所 北九州学術研究都市 産学連携センター2階 特別会議室

開 会

- 議長挨拶
- 委員の紹介
- 欠席者等の案内
- 平成24年度第4回議事要旨の確認

〔審議事項〕

- (1) 平成24年度学内修正予算について

〔報告事項〕

- (1) 就業規則等の制定及び改正について
- (2) 外部評価(教育関係)報告書について
- (3) 平成23年度に係る業務の実績に関する評価の結果について
- (4) 国立大学のミッションの再定義に関する資料・データ提出について
- (5) 平成23年度決算の承認について
- (6) 東日本大震災及び平成24年7月九州北部豪雨により被災した平成25年度九州工業大学志願者の入学検定料の免除について

〔その他〕

平成24年度経営協議会 開催日程

議長謝辞

閉 会

国立大学法人九州工業大学経営協議会議事要旨（平成24年度第5回）

1. **日時** 平成24年11月22日（木）13:00～14:10
2. **場所** 北九州学術研究都市 産学連携センター 特別会議室
3. **出席者** 工藤委員，古賀委員，中川委員，成清委員，濱田委員，山本委員，吉崎委員（五十音順）
学長，理事（評価・総務・財務担当），理事（教育・情報担当），理事（研究・産学連携担当），理事（経営戦略担当），副学長（事務統括・労務担当），工学研究院長，情報工学研究院長，生命体工学研究科長
4. **列席者** 監事（教育・研究担当），監事（経営・財務担当）
5. **議長挨拶**
議長から，開会にあたり挨拶があった。
6. **会議成立**
構成員18名のところ，16名の出席により定足数を満たしていることが確認された。
7. **議事録の確認**
平成24年度第4回経営協議会（平成24年9月6日）の議事要旨について確認が行われ，了承された。
8. **審議事項**
 - (1) **平成24年度学内修正予算について**
学長より，資料に基づき平成24年度学内修正予算について説明が行われ，審議の結果，了承された。
9. **報告事項**
 - (1) **就業規則の制定及び改正について**
学長より，資料に基づき就業規則の制定及び改正したことについて報告があった。
また，今後の改正予定について人事課長より説明があった。
 - (2) **外部評価（教育関係）報告書について**
理事（評価・総務・財務担当）より，資料に基づき教育に関する外部評価報告書について報告があった。
なお，以下のとおり意見等があった。
(○：学外委員，△：学内委員)

○： 英語教育について，どのような教育を行っているのか。
△： 入学時のTOEICの点数により，習熟度別でクラス編成をして英語教育を

行っており、情報工学部では20名程度を選抜して講義による英語教育の他に海外研修を実施している。また、物理・数学系の科目においても英語による授業を行っている。

- ： TOEICについて、学年別で目標点数を設定しているのか。
- △： 目標点数は設定していないが、大学院入試においてはTOEICの点数を用いているため、年々点数が高くなってきている。
- ： 教育に関する評価について、「教育内容及び教育の成果等（入学者選抜、学生募集等）」の評価が劣っているようであるが、評価に対するご意見を伺いたい。
- △： 学生の卒業時の能力にはまだ満足していないが、各科目において数値的な目標を設定する必要があると考えている。卒業生の能力に対するニーズが年々要求レベルが高くなっているが、逆に入学生の能力は低くなっているため、このギャップをどのように埋めていくかが今後の課題である。
- ： 外部評価については、少し辛口で処理に困る事もあると思う。
- △： 辛口ではあるが的を得た意見であるため、議論して対策を実行していきたい。
- ： 指摘された事項で特に対応に苦慮していることはどんなことか。
- △： 教育水準をより良くするために、全ての教員の意識レベルを時間をかけながら上げていきたい。
- ： 大学として特徴を出したり、差別化することが必要となるが、現在の入試はセンター試験で統一されている。入学試験における改革、及び社会ニーズへの大学としてのアプローチについてご意見を伺いたい。
- △： 大学改革実行プランにおいても入学試験の改革が明記されている。本学入学者のうち推薦入学による入学者の成績が最も低いため、特に推薦入学における改革が必要と考えている。また、高校での英語教育はセンター試験用の教育となっており、大学入試自体を変えないと高校の教育も変わらないため、本学のみならず全国的に変えていく必要がある。

社会ニーズについて、工学分野におけるニーズはどんどん変わっていく可能性があり、企業が求めるニーズを適切に把握することで、大学改革に反映する必要がある。
- ： TOEICによる英語能力向上も大事であるが、国際的な場面で意見を戦わせることができるディベート力を身に着けることも大事である。

また、少子化により女性も活躍する時代となっているため、女子学生に対する配慮をお願いしたい。
- △： 本学としても女子学生に力を入れており、女子学生のための広報活動や募集パンフレットを作成するなど、女子学生の入学者増を期待している。

ディベート力については、外国人留学生と交流する場を増やすことにより、議論をすることの大事さを認識してもらい、意識を変えていく必要がある。
- ： チーム学習に力を入れており、グループで議論できる場を用意して、意見やコミュニケーションを活発に行わせることで、ディベート力が培われているように感じている。

(3) 平成23年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

理事（評価・総務・財務担当）より、資料に基づき平成23年度に係る業務の実績に関する評価の結果について報告があった。

(4) 国立大学のミッションの再定義に関する資料・データ提出について

学長より、資料に基づき国立大学のミッションの再定義に関する資料・データを提出したことについて報告があった。

(5) 平成23年度決算の承認について

理事（評価・総務・財務担当）より、資料に基づき平成23年度決算の承認について報告があった。

(6) 東日本大震災及び平成24年7月九州北部豪雨により被災した平成25年度九州工業大学志願者の入学検定料の免除について

学長より、資料に基づき九州北部豪雨により被災した志願者に対し、入学検定料の免除を行うことについて報告があった。

10. その他

(1) 教育フォーラムの実施について

学長より、本学の教育改革について平成25年1月に東京で教育フォーラムを計画している旨、報告があった。

(2) 平成24年度経営協議会 開催日程

学長より、資料に基づき次回以降の開催日程について説明があり、今回は、戸畑キャンパスで開催したい旨の報告があった。